

KFCと尚綱学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

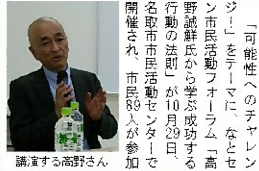
2016年 11月



【発行】
 河北新報省とセンター
 【編集】
 尚綱学院大 河北仙阪
 【エリア】
 名取市内
 【部数】
 11,000部
 【電話】
 022(2286)2991



会場には、たくさんの市民が集まりました



講演する高野さん

講演では、羽咋市産の米をローマ法王に寄贈した話をはじめ、観光客誘致のために海外で利用された本物のロケットや月の石を調達した話など、豊かな発想力と行動力で実践してきた経験談を披露しました。

高野氏は、「切れた電球の下で暗い」と不満を言ったことで、誰かが電球を交換すれば、明るく

「可能性へのチャレンジ」をテーマに、など市民活動フォーラム「高野誠鮮氏から学ぶ成功する行動の法則」が10月29日、名取市市民活動センターで開催され、市民60人が参加

講師兼アドバイザーの高野誠鮮氏は、元地方公務員で現在は日蓮宗僧侶兼科学ジャーナリストという異色の経歴の持ち主です。地方公務員時代には、ドラマ、ボレオンの村」のモデルとなった石川県羽咋市の活性化に寄与し、懲罰落を企画

高野氏、地域再生体験伝へる

「ローマ法王に米を食へさせた男」著者

講演では、羽咋市産の米をローマ法王に寄贈した話をはじめ、観光客誘致のために海外で利用された本物のロケットや月の石を調達した話など、豊かな発想力と行動力で実践してきた経験談を披露しました。

高野氏は、「切れた電球の下で暗い」と不満を言ったことで、誰かが電球を交換すれば、明るく

パネラーには、ゆりあけかじめの佐竹悦子氏、ぶらうどはんく東北AGA-INの地主権信氏、ハナモモ通信の阿部吉忠が参加。活動の中で困難にしていることやこれからの方針など多くの質疑が飛び出し、活発な議論が行われました。

(阿部 吉忠)



パネルディスカッションでは活発な意見交換が



右から三好教授、遠藤さん、尚綱学院大事務の松田さん

北と関西の様々な施設で動作法支援を行っています。

三好教授は名取市内の施設での活動について「腰が伸びた、楽になったという声が多く、効果を実感しています」と手触感を感しているようです。そして腰痛について「みなさんが元気で生活ができるようになってほしいです。施設がある限り、活動していきます」と自信に満ちています。

「心と体スツキリ」

「尚綱学院大 心と体スツキリ」

「尚綱学院大 心と体スツキリ」

「尚綱学院大 心と体スツキリ」

「尚綱学院大 心と体スツキリ」

三好教授は今年、神戸市の特別支援学校から同大に赴任して来ました。

三好教授本人も関西で療法を基にしています。動作法は、体を動かし、心身の調子を整える心理療法の一つです。動作法では「心の不調応は、必ず体の不調応として現れる」と考えられています。そして療法士のサポートを受けながら、自



三好教授から施術を受ける遠藤さん

無事でしたが、自宅その後の途程は、福島の南相馬の動作法を開始しました。その功が認められ、病院で力ウンセラとして活動もあっています。

被災者としての経験から東北の被災地に開き始め、現在は仙台市太白区に自宅を構えながら、東北と関西の様々な施設で動作法支援を行っています。

三好教授は名取市内の施設での活動について「腰が伸びた、楽になったという声が多く、効果を実感しています」と手触感を感しているようです。そして腰痛について「みなさんが元気で生活ができるようになってほしいです。施設がある限り、活動していきます」と自信に満ちています。

〒981-8501 名取市大町1-3-35 221-0335 まで (日) 堀也

tm.yosshi@shokei.ac.jp

